

沿岸地域の震災観光復興

宇都宮大学中村ゼミ

氏家祐太 佐々木彩 佐藤佳奈

1. はじめに

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震が起因となり、東京電力福島第一原子力発電所で原子力事故が発生した。警戒地域の住人はいままお避難を余儀なくされており、また放射能を心配し自主避難している人も多い。

原発事故は観光地にも大きな影響を与えている。福島県、福島県周辺の地域では原発の風評被害で観光客が減っている。福島県会津若松市の2011年の観光客は2010年の15%減で235万人であった。特に県外からの小中学校の修学旅行は841校から100校に激減した¹。宮城県でも2010年と比べ2011年の沿岸部の各市町村への観光客は平均59.4%減、内陸部でも平均16.54%落ち込んでいる²。茨城県でも2011年は10年に比べて22.8%減、海水浴客に関しては80%以上減少した³。

そこで、私たちは風評被害により観光客が減った地域の現状、その対策について詳しく調べていくことにした。特に風評被害のひどい沿岸地域から、茨城県東茨城郡大洗町に焦点をあて調査する。栃木県に住む者にとって夏は大洗の海に行くのが定番であり、大洗町は私たちにとっても身近な町である。

2. 大洗町について

大洗町は茨城県の太平洋岸のほぼ中央にあり、東茨城郡の東端に位置している。東京からは約100km、県都水戸市の中心部(水戸駅)から南東に約12kmで東は太平洋に面している。表日本型の海洋性気候のため、平均気温は茨城県の内陸地方と比較すると冬は平均で1~3度高く、逆に夏は2度前後低くなるため、温和でしのぎやすい気候である。人口は年々減少傾向にあり、2012年1月1日時点で17823人である。人口は減少しているが、核家族化が進行し、世帯数は増加傾向にある⁴。

2011年3月11日、大洗町も地震、津波に見舞われ、家屋全壊12件、半壊291件、一部損壊1285件と大きな被害を受けた。

大洗町では震度5強を記録し、津波は最大4.2mでフェリーターミナルが海と一体化、コンテナや乗用車が流された。繰り返される津波によって町域の約9%となる200ヘクタールが浸水した。このように大きな被害を受けたが、幸い津波による人的被害は受けていない⁵。

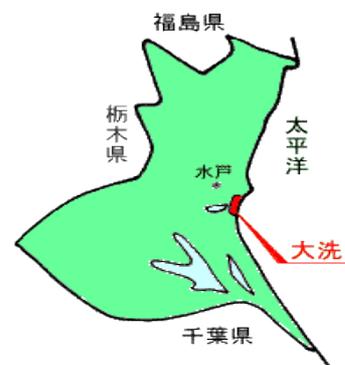


図1 大洗の位置

(http://www.town.oarai.lg.jp/~mac/hidukuri/machi/info_g_3_403.html)

3. 大洗町の観光業

(1) 大洗の観光について

大洗町の観光メインは“海”であり、砂浜移動用の特殊車の貸し出しや車イス用の更衣室、トイレ、シャワーの設備を整え、障がいのある人やお年寄りにも楽しんでもらえるような“ユニバーサルビーチ”をめざしている⁶。

海

- ・海水浴
- ・潮干狩り
- ・サーフィンなどのマリンスポーツ
- ・釣り

観光施設

- ・アクアワールド大洗（水族館）
- ・大洗リゾートアウトレット
- ・大洗マリンタワー
- ・大洗わくわく科学館 など

特産品

- ・はまぐり
- ・シラス
- ・あんこう など

アクセス

- ・首都圏から常磐自動車道により良好
- ・北関東圏からは2012年の北関東道の全線開通によりさらに便利に

(2) 震災による観光産業における変化

観光が重要な産業である大洗町であるが、震災とその後の風評被害はそれに大きな影響を与えた。震災後の観光客の変化と、その対策について調査するため、大洗町役場の方にお話を伺った。

インタビュー：大洗町商工観光課 田山篤さん

① 観光客の変化

震災後、大洗町の観光客は減少。他の被災地よりも復旧は早かったが、原発事故の風評被害のため、観光客が減ってしまったと考えられる。観光のメインである海へも放射能を心配し、海水浴客は著しく減少した。

[大洗町の海水浴客の変化]

2010年：653,360人

2011年(震災の年)：45,630人 (2010年比較 22.3%)

2012年(震災の翌年)：348,574人 (2010年比較 53.4%)



写真1 現地調査先
大洗町商工会館
(2012/10/24 佐藤 撮影)

栃木、群馬からの海水浴客は回復しつつある（北関東自動車道の影響もあると考えられる）が東京、神奈川方面からの海水浴客は回復していない。

②観光客回復のための対策

2012 年度は観光客回復のための予算が組まれており、大洗町はいろいろな取り組みを行っている。

・避難マニュアル

地震発生や津波警告が出た際に観光客が安全に避難できるようマニュアルをつくり、避難対策をしっかりと行っている。

・観光キャラバン

栃木、群馬、埼玉、東京、長野で大洗をアピールしてまわっている。大洗の名産や季節にあわせた料理の試食も行っている。これからの季節（冬）はあんこう鍋の試食を行うそうだ。



写真2 あんこう鍋

(<http://www.oarai-info.jp/eat/08.htm>)

・大洗町内のクーポン券配布

町役場商工観光課の企画で、大洗町の観光施設や商店などで使える 2000 円のクーポン券を、宿泊客にプレゼントするという試みを、2012 年 11 月よりスタートしている。これまでに町内の宿泊施設の代表を集めた説明会を町役場において実施しており、町役場と宿泊施設との連携した試みとなっている。費用は、町による負担で実現される。



図2 大洗ガイドブック上のクーポン券

(http://ep.nta.co.jp/mito/oarai_01.pdf)

・海辺でのイベント

2012 年 7 月 7・8 日、“元気いばらき！夏のグルメ屋台村&サーフィンフェスティバル in 大洗”を大洗海岸で開催した。これは茨城県との合同企画であり、費用の 3/4 は県が負担した。グルメ屋台村とはグルメ屋台ブースを設置し、茨城県の海産物や県内のご当地グルメを提供するものである。観光客はその料理を食べながら、海で行っているサーフィントライアルを観戦した。このイベントには大洗の海の安全性をアピールする目的もあった。



写真3 グルメ屋台村の様子

(<http://www.facebook.com/photo.php?fbid=392724784110445&set=a.392724690777121.91139.307327322650192&type=3&theater>)

他にも大洗サンビーチでのビーチボール大会や花火大会など、観光客を海に集めるイベントを多く開催した。

“夏のグルメ屋台&サーフィンフェスティバル”のように茨城県が負担している取り組みもある。茨城県は団体用の大型バスを観光客に対し無料で提供しており、大洗町を含め、各市町村の集客に貢献している。

4. 大洗町漁業の状況

大洗町は漁業がさかんで、近海ではしらす、鹿島灘はまぐり、いわし、ひらめ、かれい、すずき、たいなどが獲れる⁷。震災後の港の様子や漁業の状況、対策についてお話を伺った。

インタビュー：大洗町漁業協同組合 臼庭明伸さん

大洗町農林水産課 水産振興係 大川文男さん

(1)港の被災と復旧

地震発生後、津波によって、港にとまっていたいくつかの船は流され、漁業に必要な機械が入っている建物や、大洗町の漁業管理を行う漁協の事務所も浸水してしまった。地震発生 4 日後に大洗町役場の職員、漁協の職員の方々が仕事に戻り、復旧作業が始まった。町と漁協の適切な判断、復旧計画のおかげで震災の 2 か月後には漁に戻ることができた。現在、堤防の一部破損が残っており、工事中ではあるが、漁業に必要な部分は復旧済みである。

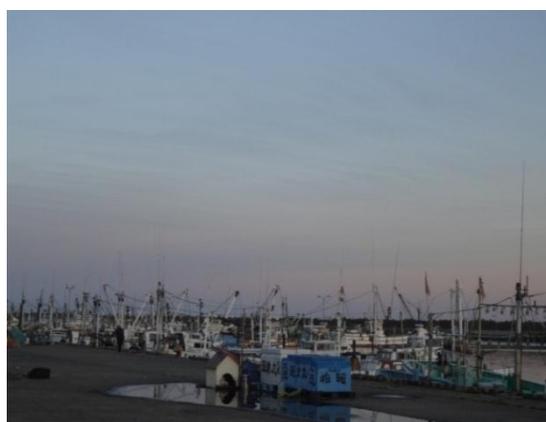


写真 4 大洗港の様子

(2012/10/24 佐々木 撮影)

(2)漁業の状況と対策

・魚規制

数は減りつつあるも、現在でも魚規制は存在する。規制を減らしたいというのが漁師の方々の願いであるが、規制の解除には県からと国からの許可が必要なため時間がかかる。潮の流れが福島県からということもあり、茨城県は他県よりも放射能を警戒されているが、本来国が定めている放射線量の基準よりも茨城県の基準を下げ、より安全性を高めている。

放射線量の基準

国の規定：100Bq

茨城県：50Bq

→より安全性を確保

・水揚げ量

水揚げ量は 5000 トンで魚が獲れなかった時期、規制がかかっている魚を除けば例年と同じである。

・風評被害

震災後、魚の値段は 3 割から 5 割減であったが、現在やや回復し 2 割減である。値段は

安くなってしまいが、休めば市場に入るすきがなくなってしまうため値段が安くても市場に出て売っている。原発の影響が大きく、スーパーなどで大洗産と他県産が並べて売ってあれば他県産が選ばれる。そこで、お客さんの前で呼びかけ、アピールをしている。そうすることによって大洗産の魚を選んでくれるお客さんも出てくるそうだ。

・大洗町の漁業を支える「かあちゃんの店」

大洗町の漁師の奥さんたちがあつまり、「かあちゃんの店」というレストランを経営している。メニューには大洗名産の生シラス井やお刺身定食などがある。このお店も被災したが、早い段階で営業を再開した。このお店は不思議と風評被害をうけておらず再開後すぐにお客さんが食べに来てくれたそうだ。週末には多くのお客さんが集まっており、大洗町全体の観光客増加につながると考えられる。



写真5 かあちゃんの店
(2012/10/24 佐々木 撮影)

5. 宿泊施設における震災からの影響と対策

観光地、大洗として、風評被害による観光客の減少に伴った宿泊施設の利用客の減少は大きな問題となっている。そこで、大洗町役場商工観光課の方の紹介により、大洗町内の宿泊施設の代表の方々から、震災後の影響とこれまで取り組んできた対策についてお話を伺った。

インタビュー：ホテル（大洗ホテル）総支配人 榊原真一さん
民宿（大勘荘）小野瀬和助さん
旅館（肴屋本店）大里明さん

(1)震災による影響

ホテル 震災後、津波による施設の修理等、営業再開に時間がかかり、43日間休業。
全館オープンしたのは2011年7月23日だった。2011年の宿泊客数は前年の60%。

民宿 震災後、予約客のキャンセルが相次ぎ、GWまでの期間はほぼ0に近い宿泊客数。
2011年夏の宿泊客数は例年の20%だった。放射能の影響を懸念し、子ども連れの客が激減した。

旅館 震災後、4月から5月の60日間は工事関係者（JRの線路復旧のため）による貸切り利用があり、宿泊客数を確保できた。しかし、その後は例年より少ない宿泊客数。

(2)震災後の宿泊客獲得のための対策

- ホテル
- ・復興支援団体による利用を積極的に受け入れ、宿泊の特別料金を設定。料理の内容を大幅に変更するなどして、1泊2食付きで11000円を7000円に引き下げた。
 - ・セールス担当者の宣伝により、宿泊客数が安定している県内セールスを強化し、県外セールスについては、旅行代理店に頼み、旅行コースを組み込んでもらった。
 - ・各地で行われる震災公演に積極的に出席した。
 - ・宿泊客に対し、宿泊動機の調査を行い、それを基に60こほどの宿泊・日帰りプランを新たに作成、人気なものを採用するという試みを行った。



写真6 大洗ホテル

(<http://www.oarai-hotel.co.jp/>)

- 旅館
- ・インターネットによる予約がほとんどであるため、ホームページ上のPRを強化した。
 - ・それまでなかったシングル利用客のためのプラン（女性も可）を出した。

全体 大洗町内の各宿泊施設同士の復興のためのネットワークが強く、互いの情報交換や復興事業の協力を行ってきた。また、大洗町役場観光振興課が町内の宿泊施設の代表を集め、現状や対策を話し合う会議を行ってきた。

(3) 2012年夏までの回復状況

- ホテル 2012年のこれまでの宿泊客数は、2010年の70%まで回復。
現在の客層としては、茨城県内からの利用客数は震災前とほぼ変わらず、首都圏からは震災前の60%、北関東からは震災前の70%である。
- 民宿 2012年夏の宿泊客数は震災前の50%であり、客層は以前からの常連さんが多い。年配の方や信頼をおいている常連の方による利用は、震災前とほぼ変わらず安定している。
- 旅館 宿泊なしの食事のみの利用客も多い。首都圏からの客数が回復してきており、宮城など東北からの客も増えてきた。

(4)宿泊施設の方々へのインタビューからみえてきたこと

現地調査やインタビューを通しての大きな印象は、震災被害にめげず、まさに元気と活力があり、やれることはやってみようというポジティブな姿勢であるということだった。

商工観光課の指揮の下、町内の宿泊施設が切磋琢磨し合い、協力してまちづくりを進めていることがうかがえた。各宿泊施設とも、震災の影響を受けて、宿泊客の回復のために独自に工夫した対策を実行しており、とくに施設スタッフが多く規模の大きいホテルでは、数多くの対策をなさっていることがわかった。

しかし、今回インタビューさせていただいたのは復興努力をすすんでされている宿泊施設の方々であり、大洗町全体を見ると、営業努力をしていないところ、できないところ、東電の補償に頼り切っているところが多くある。まち全体をさらに盛り上げていくためには、こういった宿泊施設の方々も巻き込んだ取り組みをどんどん行っていくことが望まれる。

また、宿泊施設の代表の方々が、今後、町に求めることとしては、各県への PR キャンペーンを継続して行うこと、若手の力を活用したイベントなどの開催により観光地大洗を盛り上げていくことなどが挙げられた。

6. 大洗町観光復興に向けたその他の関連事業

・アニメ「ガールズ&パンツァー」による宣伝効果

大洗が舞台となったアニメ「ガールズ&パンツァー」⁸が2012年10月から放送中で、宣伝用のポスターは駅構内や電車内など、各地で貼られていた。アニメ内では大洗町内の各施設（アウトレットなど）や道路がそのまま描かれていたり、大洗の名産であるあんこうなべを食べるシーン、挿入歌として「あんこう音頭」が流されていたりする。地域への興味・関心を引き付け、知名度の向上が見込まれると共に、舞台となっているまちを訪れる観光客の増加にも期待できる、と各宿泊施設の方々も話していた。



写真7 アニメポスター

(<http://girls-und-panzer.jp/>)

・観光施設周遊バスの運行⁹

2013年3月からひたちなか・大洗沿岸の「三浜地域」における観光施設と駅を周遊するバスが運行を開始する予定である。集客力のある施設をバスで結んで回遊性を高め、地域の魅力向上につなげ、新たな観光客の呼び込みを図る。また、三浜地域の魅力を紹介した「三浜ガイドマップ」を8万部作成し、各施設や旅行業者に配布したり、共通割引券を作成したりといった試みも行われる予定である。これは、ひたちなか、大洗の各施設からの発案により実現する事業である。

- ・ 缶バッジ、ステッカーの販売

“がんばっぺ！大洗” 缶バッジ、ステッカー

1つ 100 円

2011 年 6 月～9 月の売り上げ¹⁰

- ・ 缶バッジ 37548 個
- ・ ステッカー 13410 枚

収入の **53. 5%**



大洗町災害義援金として寄付

ひたちなか市商工会が企画した「がんばっぺ！茨城」プロジェクトの一つとして販売されていたが、今年 8 月に大洗町商工会に引き継がれ、現在は大洗町商工会が販売、管理を行っている。大洗町商工会に引き継がれてから缶バッジ、ステッカー、ミニシールを 5000 枚ずつ製造し、現在その 7 割を売り上げている。この缶バッジ、ステッカーは「がんばっぺ！」で大洗町に笑顔を広げること、大洗を愛する人々のつながりをより強くすることを目的としている。



写真 8 がんばっぺ！大洗 ステッカー
(2012/11/9 佐々木 撮影)

7. おわりに

沿岸地域、大洗では、海と地域との関わりが強く、海水浴や新鮮な海産物が売りの観光地である。したがって、町役場だけでなく、漁師や漁協、観光施設や宿泊施設、すべてがまちの観光づくりに関わり合っている。震災後、原発からの風評被害によって、漁業、観光の面で大きく打撃を受け、現在もその真っ只中ではあるが、復興への強い意欲とまちとしての団結力を、現地調査を通して感じ取ることができた。大洗町では、町、民間団体、町民それぞれが、観光地大洗の復興に向けて積極的に努力し、様々に工夫してまちを盛り上げている。また、各々の取り組みだけでなく、町と組合、組合と町民、町と宿泊施設というように、相互連関して現状を把握し対策を打ち出していることがわかった。

今回の現地調査で、大洗の隣のひたちなか市にも出向いた。ひたちなか市には、沿岸部に国営ひたちなか海浜公園という大きな観光施設のほか、海水浴場もあり、大洗町と同じく観光地として有名である。ひたちなか市役所の観光振興課の方に復興への取り組みについてお話を伺ったところ、市主催の復興イベントを行ったり、海水の安全性をアピールしたりと、観光客回復に向けた取り組みをしてきたようだ。しかし、大洗町ほど復興の現状を市が把握できていない、各観光施設、団体にそれぞれ任せている、市と各施設、市民との関係性が薄い、という印象を受けた。

たしかに、震災そのものの被害の度合いや、原発からの物理的距離、市や町の規模などを考慮すれば、復興の進度をそのまま地域間で比較することはできないし、被災地の他の地域に同じような復興状況を求めることもできない。しかし、風評被害に苦しむ地域の中には、観光産業が重要な位置にあり、観光復興がまちの復興となる地域も数多い。まちの

復興基盤が整い、観光地として復興を本格的に目指す際には、大洗町のまちと地域住民とが一体となった復興体制は、震災復興の目指すべきモデルとなり得ると考える。

参考資料

- ・茨城県・大洗町の観光情報サイト よかつぺ大洗 <http://www.oarai-info.jp/top.htm>
- ・大洗観光情報 <http://www.town.oarai.lg.jp/subtop.html?id=6&idSubTop=3>

¹東京新聞 2012年3月21日 記事

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/feature/nucerror/list/CK2012032102100004.html>

²宮城県の観光業風評被害の実態把握 2. 観光業の風評被害の実態

<https://www.r-info-miyagi.jp/site/wp-content/uploads/2012/09/f701c340dbd6b91c72d0f03476d069e6.pdf>

³産経ニュース 2012年6月16日 記事

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120616/ibr12061602030003-n1.htm>

⁴大洗町 まちのすがた

http://www.town.oarai.lg.jp/~machidukuri/machi/info_g_3_403.html

⁵東日本大震災大洗町の記録「されど、われらの海」p.1~3

⁶大洗町観光情報 ユニバーサルビーチとは

http://www.town.oarai.lg.jp/~kankouka/asobu/info_g_6_366.html

⁷大洗町 漁業・水産業に関すること

http://www.town.oarai.lg.jp/~nousui/business/info_g_3_234.html

⁸ガールズ&パンツァー公式サイト <http://girls-und-panzer.jp/>

⁹茨城新聞 2012年10月16日 記事

http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13503120084110

¹⁰がんばっぺ茨城 がんばっぺ大洗

<https://sites.google.com/site/gambappeibaraki/gambappeoarai>